

令和2年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書

事業名	一緒に話そう！考えよう！やってみよう！さっくらーにんぐin城西町
事業者名	一般社団法人ふたば
事業の目的 (事業を実施しようと思ったきっかけなど)	<p>子どもの貧困・発達特性といった普遍的な課題に対する学習支援や生活支援を行う場は一定数あります。しかしその「枠組み」の対象にはならないが、保護者が仕事で忙しく、寂しさを抱えているいわゆる“鍵っ子”（学校から帰宅し、家で一人過ごす子）や、周囲とコミュニケーションを取ることが苦手な子達がいるということが、地域で活動している中で見えてきました。</p> <p>子ども達が学校帰りにふらっと立ち寄り、大学生や社会人と一緒に学習したりお話しできる、学校でもない・家庭でもない・第3の学びの場を作り、子ども達が自分らしく伸び伸びと過ごすことができ、大人や他の参加者との交流を通じ、様々な価値観に触れ、将来の選択肢を増やすきっかけとなるよう、子ども達の“自立”のお手伝いできればと活動しています。</p>
事業の実績 (日時・場所、参加者、内容、参加者の様子など)	<p>【さっくらーにんぐin城西町】</p> <p>開催日時：毎週金曜日16:30～19:30（長期休み期間は10:00～14:00）</p> <p>開催場所：新田町公民館（盛岡市新田町2-20）</p> <p>対象者：盛岡市内に住んでいる小4～中3</p> <p>登録者数：計22名（小学生13名 中学生9名）</p> <p>近隣の厨川小・城西中にチラシを配布し、周知を行っています。</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の自学自習（学校の宿題や苦手教科）のサポート。</li> <li>・トランプやウノなど、参加者同士の交流ができるもの。</li> <li>・長期休み期間には、たこ焼きパーティー等の調理体験を実施。</li> </ul> <p>※子ども達一人一人の状況に合わせたオーダーメイドなサポートを行っています。</p> <p>サポート体制：社会人サポーター1名、大学生サポーター3名（岩手大学、盛岡大学、岩手県立大学の教育や福祉の専門職を目指す学生）</p> 
その他 (課題、今後の予定など)	<p>子ども達の多様なニーズに対応するため、スタッフの増員が必要。地域の「子ども支援をしてみたいが、ノウハウがない」という方々とつながり、この取り組みを知ってもらい、地域で子ども達を見守る仕組みづくりを行っていきたい。</p>